

形名	LEET-42904W	耐食耐酸器具 屋内・軒下用 IP54 防湿形＜防湿・防雨・防塵形＞	天井直付専用（壁付不可） （使用温度範囲）5℃～35℃
----	-------------	--------------------------------------	--------------------------------

■ 適合LEDバー

■ 基本特性（周囲温度（25℃時））

明るさタイプ	形名（防湿・防雨形）		100V			200V			242V		
	光色 （*部）	形名 （*部は左記光色による）	入力電流 （A）	消費電力 （W）	漏洩電流 （A）	入力電流 （A）	消費電力 （W）	漏洩電流 （A）	入力電流 （A）	消費電力 （W）	漏洩電流 （A）
6,900lm	*：N 5000K （昼白色）	LEEM-40694*-WP-LS9	0.449	44.8	0.145	0.220	43.0	0.290	0.185	43.0	0.350
5,200lm		LEEM-40524*-WP-LS9	0.336	33.4		0.168	32.5		0.142	32.5	
4,000lm		LEEM-40404*-WP-LS9	0.253	25.2		0.129	24.8		0.110	24.8	
3,200lm	*：L 3000K （電球色）	LEEM-40324*-WP-LS9	0.198	19.7		0.103	19.5		0.088	19.5	
2,500lm		LEEM-40254*-WP-LS9	0.173	17.1		0.091	17.0		0.078	17.0	
2,000lm		LEEM-40204*-WP-LS9	0.137	13.5		0.074	13.5		0.064	13.5	
低誘虫	イエロー	LEEM-40204Y-WP-LS9	0.206	20.5		0.107	20.3		0.091	20.3	

※基本特性、漏洩電流は、搭載するLEDバーにより異なります。 形名、明るさタイプをご確認の上表を参照ください。

このたびは東芝LED照明器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■ 安全上のご注意

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。
工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。
照明器具への電源線が損傷を受けた時は、必ず電気工事店に依頼してください。
電気工事の有資格者による交換が必要になります。

- お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

工事店様へ 施工上のご注意

	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	禁止 • LEDバーに表示された電源電圧（定格電圧±6%以内）以外で使用しない。（故障、火災の原因） • 器具を改造したり、部品を変更しない。（落下・感電・火災等の原因）
	必ず実施 • 屋内専用です。5℃～35℃の範囲で使用してください。（火災の原因） • 器具の取り付けは、天井直付専用です。（火災、器具落下の原因） • 施工時は、一般環境・通常環境雰囲気中で施工ください。 • アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。 • 器具の取り付けは、質量に耐える所に本体表示並びに取扱説明書に従って行う。（器具落下の原因） • 電源線接続後の絶縁・耐油処理（融着テープングなど）は確実に行う。（発熱、火災の原因） • 器具の取り付けの際は手袋を着用すること。（けがの原因）

	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
	禁止 • 器具は軒下などの雨線内の壁側でご使用になれます。振動の強い場所、その他の屋外では使用しない。（絶縁不良、感電の原因） • 耐薬品性を確認の上、使用してください。（破損、落下、感電の原因） • 海上や臨海部などの重塩害地、沿岸部の塩害地では使用しないでください。部品の腐食の原因となります。 • 直射日光の当たる場所に使用しないでください。変色・変形・火災・短寿命の原因になります。 • 直接、雨・風のあたる場所、振動や衝撃のある場所、硫黄ガス・硫黄成分などの発生する場所、オイルミストの発生する環境下などには使用しないでください。 • 器具を密閉した空間に使用しない。（LED早期故障の原因）

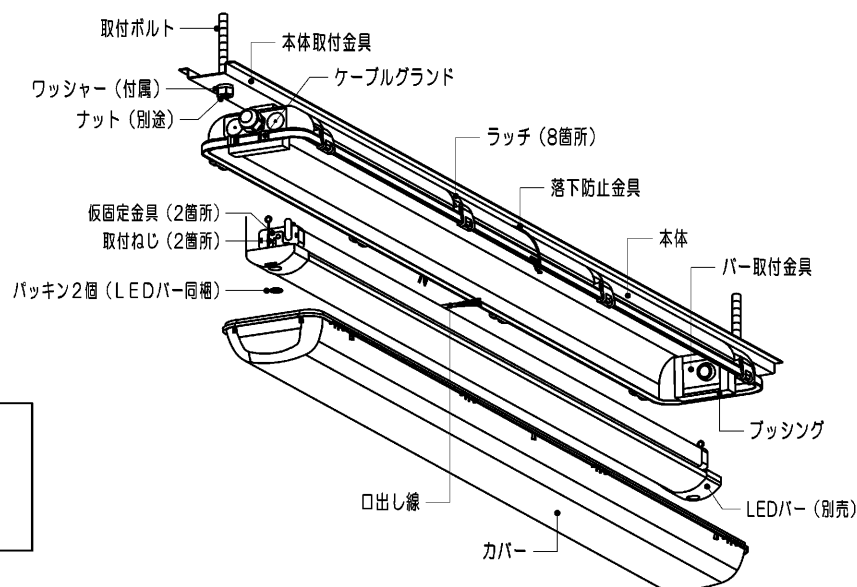
お客様へ 使用上のご注意

	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	禁止 • 器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけたりしない。（火災の原因） • 器具のすきまなどに針金などを差し込まない。（けがや感電・火災などの原因）
	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
	禁止 • 金属部分をクレンザーやたわしでみがかない。（腐、腐食の原因） • ガソリン、ベンジン、シンナー等の薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしない。（破損、落下、感電の原因）
	必ず実施 • お手入れの際は、必ず電源を切ってください。（感電の原因） • 器具のお手入れは、乾いた柔らかい布か、ぬるま湯または中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。（メッキ部分は乾いた布でふいてください。） • 照明器具には耐用年数があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは耐用年数が短くなります。1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。（「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。）点検せず長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。 • 低誘虫タイプは、虫が全く集まらないということではありません。既存光源（注1）との比較において低誘虫という特長です。また、長時間のご使用により、誘引の低減ができなくなる場合がございます。（注1）TENQOO（5000K）：LEEM-40203N-01 蛍光灯：FHF32EX-N-H

お願い

- ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
- 点灯直後・消灯直後に「ピシ」「プツ、プツ」等のプラスチックの伸縮によるきしみが発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。
- LED素子にバラツキがあるため、同じ品番のLEDバーでも光色、明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

■各部のなまえ



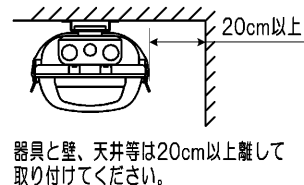
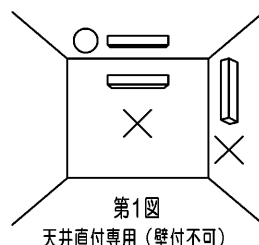
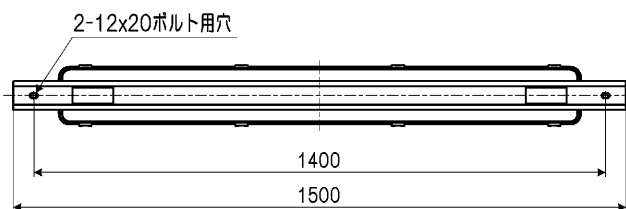
付属品

- ・ワッシャー (2個)
- ・結束バンド (2個)
- ・コードキープ (1個)

■器具の取り付けかた

1 器具の取り付け寸法

(単位mm)



2 器具の取り付け準備

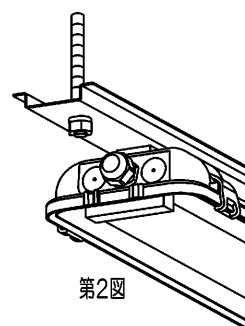
カバーを本体より取り外してください。(はすしかたは、[6] カバーのはすしかた・取り付けかたを参照)

3 本体の取り付け

- ① 平らな天井面に 電源線側が本体のケーブルグラント側になるように、本体取付金具で確実に取り付けてください。第1図の方向に取付できます。(直付け専用、壁付不可) (推奨トルク: 1.0~1.5Nm) (第2図) (取付けボルトはW3/8またはM10を使用し、付属のワッシャーを必ず入れてください。)

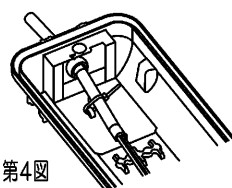
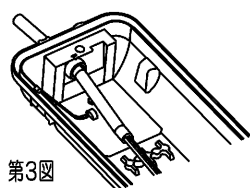
不備がありますと、器具落下の原因となります。

(注) 本体施工時に片側の取り付けボルトで取り付けした状態を放置しないでください。
本体取付金具変形の原因となります。



4 結線準備 (適合電線外径はφ7~12mm)

- ① ケーブルグラントのキャップを緩め、電源電線を30cm程度ケーブルグラントから器具内に挿入してください。電源電線挿入後キャップを締めて、電源電線を固定してください。(推奨トルク: 3.7Nm)
- ② 電源電線の外被(シース)を20cm程度剥いて、電線を出して接続する準備をしてください。(第3図)
- ③ LEDバー取付金具の切り起こしに、結束バンドを通し、電源電線をシース部分で固定してください。(第4図)



- ④ 電源電線を送り配線する場合は、電源ブッシュ中央部をカットして送り配線用の電源電線を電源引き込み口より引き込んで、ケーブルグラントから引き込んだ電源電線、口出し線と接続できるように外被(シース)を剥いて、電線を結線する準備をしてください。③同様に電源ブッシュ側も結束バンドで電源電線をシース部分で固定してください。
電源ブッシュ側送り電線引き込み口は、シール処理をしてください。

5 LEDバーの取り付けかた・はずしかた

取り付けかた

- ① 本体とLEDバーの位置を合わせ、LEDバー両端にある仮固定金具（2箇所）を本体両端のLEDバー取付金具の切り欠きに引っ掛け、LEDバーを本体に吊下げてください。
ケーブルグランド側にLEDバーの口出し線側がくるように取り付けてください。（第5図）
※口出し線を持ってLEDバーを取り付けないでください。

不備がありますと、器具落下の原因となります。

LEDバーをひねらないでください。

- ② LEDバー取付金具に固定された電源電線とLEDバーの口出し線を器具内で結線してください。
接続部は自己融着テープ・絶縁テープを使用して、絶縁処理を確実に行ってください。
口出し線は、長めに設定してあります（約600mm）。余った口出し線は挟み込まないよう、必要に応じカットして接続してください。（第6図）

接続の絶縁処理・防水処理に不備がありますと不点灯、感電、火災の原因となります。

- ③ D種（第三種）接地工事を行ってください。
口出し線の接続は電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条に従って接続してください。
- ④ 電源電線と口出し線の結線後、付属のコードキープを使用して、口出し線が垂れ下がらないように貼り付けてください。
- ⑤ LEDバーエンドカバーの取付穴よりプラスドライバーなどの工具で取付ねじを確実に本体のLEDバー取付金具に取り付けてください。（推奨トルク：1.0Nm）（第7図）
※口出し線側から取り付けてください。

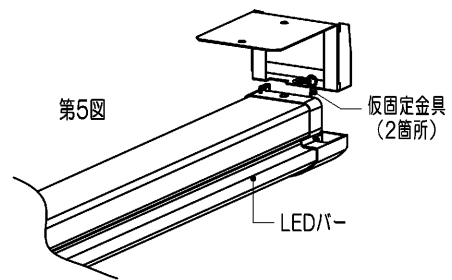
不備がありますと、LEDバー落下の原因となります。

- ⑥ エンドカバーの取付穴を隠すため、パッキンを取り付けてください。

不備がありますと、パッキン落下の原因となります。

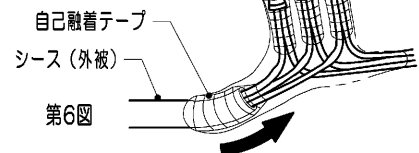
はずしかた

- ① 必ず電源を切ってください。
- ② パッキンを取付穴からはずしてください。
- ③ 取付穴にプラスドライバーを入れて取付ねじをはずしてください。
- ④ LEDバーの取り付けかた①の状態にした後、電源電線と口出し線の結線をはずしてください。

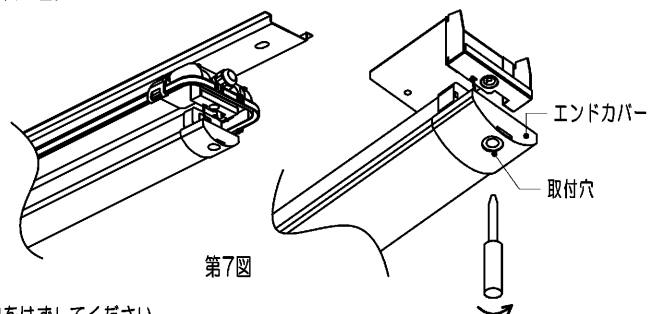


第5図

各端末を絶縁処理
必ず上向きにしてください。



第6図



第7図

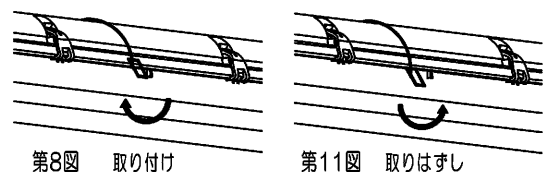
6 カバーのはずしかた・取り付けかた

はずしかた

- ① 器具中央の落下防止金具の先端がカバー外周の凹部に引っ掛かっていることを確認してください。（引っ掛かっていない場合は、先端がカバー端部をこすらないように下方に引っ張り、外周の凹部に引っ掛けてください（両側））
- ② ラッチの上部を外側に開いてください。8か所すべて行ってください。（第9図）
- ③ 片側4か所について、片手でカバーを押さえながら、ラッチの下部を掴んで、下に引き下げてください。（第10図）ラッチの先端をカバーからはずしてください。（片側について、ラッチがカバーからはずれた状態）
- ④ 同様にもう片側も③方法で、ラッチ先端をカバーからはずしてください。（ラッチがすべてカバーからはずれた状態）
- ⑤ カバーが落下しないように下から支えながら、落下防止金具の先端をカバー端部をこすらないように下方に引っ張りカバー外周凹部からはずしてください。（落下防止金具の先端を軽く引き下げてからゆっくりはずす。（片側ずつ両側実施））

取り付けかた

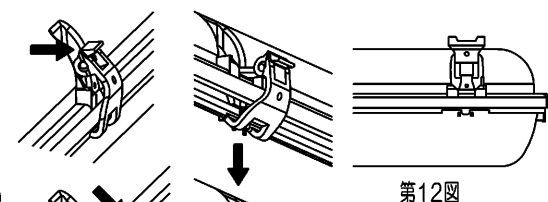
- ① カバーを本体に合せてください。（外周どうしが同じ位置になるように）（第12図）
- ② 器具中央の落下防止金具の先端がカバー端部をこすらないように下方に引っ張り、カバー外周の凹部に引っ掛けてください（両側）
- ③ カバー外周の凸部がラッチの下部中央に位置する様にして、ラッチ下部を押し上げてください。（第13図）
- ④ 8か所すべてのラッチに③の方法でカバーを取り付けてください。
- ⑤ カバーを本体に押し付けながら、ラッチ中央部を押し上げてください。（第14図）
- ⑥ 8か所すべてのラッチが確実に押し上がっていることを確認してください。
- ⑦ 最後に今一度、落下防止金具の先端がカバー外周凹部に引っ掛かっていることを確認してください。（第8図）



第8図

第11図

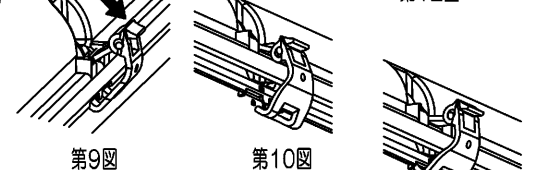
取りはずし



第8図

第11図

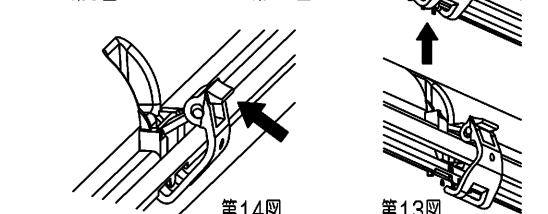
取りはずし



第8図

第11図

取りはずし



第8図

第11図

取りはずし



第8図

第11図

取りはずし

■耐薬品性能

種類	薬品	応応性
中性塩	15%塩化カルシウム	○
	10%塩化マグネシウム	○
	10%塩化カリウム	○
	15%塩化ナトリウム	○
	15%塩化アンモニウム	○
	15%炭酸ナトリウム	○
アルカリ	10%アンモニア水	○
	5%苛性ソーダ	○

適応性

○…使用可

× …使用不可

種類	薬品	応応性
酸性	5%塩酸	○
	10%塩酸	×
	10%酢酸	○
	50%酢酸	×
	10%過酸化水素	×
	10%硫酸	○
	70%硫酸	×
	5%硝酸	○
	10%硝酸	×
	20%濃酸	○
	30%濃酸	×

種類	薬品	応応性
有機物質 (アルコール溶剤)	ベンジン	×
	ヒマシ油	○
	メタノール	×
	イソプロピルアルコール	○
	(95%)アセトン	×
	ベンゼン	×
	エチルアルコール	×
	(95%)クロロフォルム	×
	トルエン	×
	シンナー	×
	メチルエチルケトン	×
(37%)ホルマリン	○	

保証とアフターサービス

弊社ホームページに掲載のメーカー保証規程をご確認ください。
修理を依頼されるときは『修理サービス規程』をご確認ください。

メーカー保証規程: https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty_policy.htm
修理サービス規程: https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair_service/repair_policy.htm

ご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または弊社
ご相談センターにお問い合わせください。
その際は商品の形名、お買い上げ時期、故障の状況などをお知らせください。



メーカー保証規程



修理サービス規程

保証について

- ・メーカー保証期間は、商品お買い上げ日より（引き渡し日）3年間です。但し、リモコンなどの付属品は、製品の保証期間にかかわらず、1年間です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、照明器具の補修用性能部品の製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
※材料の終息等により、保有期間前に修理できない場合があります。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 （通話料：無料）

携帯電話 046-862-2772 （通話料：有料）

FAX 0570-000-661 （通信料：有料）

ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供することがあります。

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

A001CA000862AD